

A-yan Tokyo (えーやん とうきょう)

1995年1月17日に起きた阪神・淡路大震災の直後、日本全国から数多くの救済ボランティアが神戸に集まり、復興支援活動に関わった。数ヶ月が経ち、多くのボランティアが自分の生活に戻っていったが、神戸との関わりを持ち続けたいと考えるボランティアを中心に「A-yan Tokyo」は1995年4月に東京で結成された。

現在は阪神・淡路大震災の被災地で活動をしたボランティアだけではなく、東日本大震災後に加わった新たなメンバーもあり、東京を中心に約30名の会員で運営している。なお「A-yan」という名称は、関西の人がよく使う「ええやん」という言葉からきている。

また、被災地の現状をより多くの人々に伝えるために、実際に被災地を訪ねて話を聞き、その話をまとめた冊子『震災が残したもの』を出版している。

学びーば (まなびーば)

2011年3月11日に起きた東日本大震災後から宮城県気仙沼市に入り、大学生ボランティアを中心とした被災児童のための学習支援活動を目的としたボランティアチーム。社会人ボランティアも参加しており、学習支援のほかに運動やイベントを企画・運営し、児童の学びと心のケアサポートを目的として取り組んでいる。その後の被災地でも、幅広い災害支援活動を展開している。

[連絡先] 植草 康浩
[E-mail] a_yantokyo@hotmail.co.jp
[URL] <https://a-yantokyo.wixsite.com/shinsai/a-yantokyo>

震災が残したものの別冊 僕たち・私たちの震災

2021年3月11日 初版

編集・発行

「僕たち・私たちの震災」プロジェクト

発行者 植草 康浩